



Rittal and Eplan at Hannover Messe
31 March to 04 April 2025
Hall 11, Booth E06

Hannover Messe 2025

産業の未来は AI 主導: Eplan とリタル、ハノーバーメッセで AI ドリブンの 産業オートメーションにハイライトを当てる

ヘルボルン/モンハイム、2025 年 3 月 6 日。

グローバル市場での競争のプレッシャー下において事業を成長させることは、ヨーロッパ、とりわけドイツの産業企業にとって常に直面する課題です。人工知能 (AI) の発展により、機械、電気、プロセス、プラントエンジニアリングにおいて、多くの可能性が広がっています。ハノーバーメッセ2025において、Eplanとリタルは、シーメンスとマイクロソフトが関わる、いくつかの実務に則した実際のプロジェクト事例を紹介しながら、AIがいかに企業の前進を後押し、将来に向けた準備をどのようにサポートできるかをご紹介します。テーマは「AIドリブンの産業オートメーションが未来を切り開く」。

会場では、データセンターでのAIアプリケーションを技術的に可能にする、Direct Liquid Chip Cooling (直接液体冷却) や、その他のハイテクイノベーションをご覧いただけます。また、Eplanソフトウェア、リタルの配電およびエンクロージャー技術、リタルオートメーションシステムズによる銅加工や機械加工の新しいアイデアと発展もご案内します。

フリードヘルム・ロー・グループのエグゼクティブ・ボード・メンバーであり、リタル・インターナショナルとリタル・ソフトウェア・システムズの CEO であるニコ・モア博士は、「AI リーダーシップとソフトウェアの専門知識に深い業界知識を掛け合わせることで、製造業は新たな成長と国際競争力を得ることが出来ます。将来は、特にプラントの計画、設計、エンジニアリングにおいて AI が推進力となるでしょう。Eplan とリタルは、AI を通じて産業オートメーションを開拓し、前進させ、AI が機械、電気、プロセス、プラントエンジニアリングの未来をどのように改善するかを示します」と話します。

ハノーバーメッセでは、フリードヘルム・ロー・グループの 2 社が、AI が電気設計者、エンジニア、計画担当者の日常業務の改善を、どのように支援するのかを紹介します。Eplan とリタルは、Microsoft Azure Open AI Service をベースとした AI を使用したマウンティングプレートレイアウトの生成など、実際のプロジェクト事例をすでにまとめています。Eplan はシーメンスと共同で、将来的にエンジニアリング・プロセス全体をデジタル化・自動化するための広範なエンドツーエンドの統合に取り組んでいます。「AI システム同士が相互接続できれば、横断的にも独立的にも、お客様にとってのメリットを新しいレベルに引き上げることが出来ます。例えば自動化技術では、コストのかかる設計や計画工数の短縮など、かなりの効率化

Rittal and Eplan at Hannover Messe
31 March to 04 April 2025
Hall 11, Booth E06



が期待できます。AI 支援ツールにより、開発者はさまざまなシナリオをわずか数分でシミュレーションすることができ、工数の節約になるだけでなく、結果の質も一貫して大幅に向上させます」と、Eplan の CEO であるセバスチャン・ザイツは述べます。その高い志と目的は、極めて明確です。現在のソリューションに AI を活用することで、業界特有の要件を満たし、エンジニアリング・プロセス全体を自動化することです。

AIにはデータが必要 – 最高品質で標準化されたフォーマットで

AIを使用するとしても、自動化の基本は、高品質で信頼性の高いデータです。この課題は、Eplanが数年前に発表した、Eplan Data Standard (EDS) と呼ばれる部品データの品質規格に準拠した部品を使用することでクリアされています。現在、Eplan Data Portalには、400万件以上のデータが登録されています。さらに、ハノーバーでは、次期、Eplanプラットフォーム 2026を発表します。そのプレビューとして、来場者はソリューション新機能に関する最初のインサイトを得ることができます。

現在の IT インフラは AI に対応していますか？

ハノーバーメッセでは、革命的な経済効果を約束する AI アプリケーションを幅広く紹介しています。しかし、データセンターの準備はできているのでしょうか？ AI 向けのコンピューティングパワーと電力密度は、既存の空冷の物理的限界を超えるものであり、新たな技術領域となります。リタールは、水冷ベースの直接チップ冷却を使用して 1 メガワット以上の冷却出力を実現する全く新しいタイプの冷却液分配ユニット (CDU) を展示し、データセンターを AI アプリケーションに使用することを可能にします。

一貫した標準化が配電を加速する

デジタルトランスフォーメーションとエネルギー転換には、電力が必要です。新しい RiLineX システムプラットフォームは、制御機器や開閉器建設における配電の生産をスピードアップし、組み立て時に最大 75% の時間短縮を実現します。見本市では、550 A と 800 A、380 kW と 500 kW の標準エンクロージャー幅で 8 つの新しい配電盤を紹介します。システム化されたプラットフォーム・アプローチにより、国際標準化を推進しています。さらに、配電盤にクリックシステムで直接接続できる「Ready for RiLineX」コンポーネントを開発するテクノロジーパートナーのネットワークを立ち上げました。リタールは見本市で、交流および直流電流の広範で将来性のあるアプリケーションをカバーする新しいパートナーを紹介します。

新製品としては、ベンディングターミナル BT 20E のようなリタールオートメーションシステムズの銅加工機や、新しいシステム・エンクロージャー・ソリューションも展示されます。例えば、新しい AX IT Nano DC は、過酷な産業環境において、サーバーやスイッチなどの増え続

PRESS

Rittal and Eplan at Hannover Messe
31 March to 04 April 2025
Hall 11, Booth E06



ける IT インフラを保護します。AX コンパクトボックスは、物流コンベア用途などに適した新しいサイズもご用意しています。



Caption, image 1

Eplan とリタールは、AI が電気設計者、エンジニア、計画担当者の日常業務の改善を、どのように支援するのかを紹介します。



Caption, image 2

Professor Niko Mohr:「AI リーダーシップとソフトウェアの専門知識に深い業界知識を掛け合わせることで、製造業は新たな成長と国際競争力を得ることができます」



Caption, image 3

Sebastian Seitz: 「AI システム同士が相互接続できれば、横断的にも独立的にも、お客様にとってのメリットを新しいレベルに引き上げることができます。例えば自動化技術では、コストのかかる設計や計画工数の短縮など、かなりの効率化が期待できます」

May be reproduced free of charge. Please name Rittal GmbH & Co. KG / Eplan GmbH & Co. KG as the source.

PRESS

Rittal and Eplan at Hannover Messe
31 March to 04 April 2025
Hall 11, Booth E06



Rittal

リタールは、エンクロージャシステム、オートメーション、インフラストラクチャにおいて、産業、IT、エネルギーおよび分電、配電、温度管理、サービス部門を含む分野でグローバルなリーディングサプライヤーです。リタールの製品とソリューションは、世界中の産業の90%以上で使用されており、標準化されたものからカスタマイズされたものまで、常に最高の品質で提供しています。

アプローチと方法論:リタール、リタール・ソフトウェア・システムズ(Eplan, Cideon, German Edge Cloud)、リタール・オートメーション・システムズ(RAS, Ehrt, Alfra)は、ハードウェアとソフトウェアの専門知識を結集し、制御盤やスイッチギアの製造、機械製造から工場運営やエネルギー分野に至るまで、お客様の価値連鎖全体を効率化、最適化、デジタル化します。

納品保証:リタールの標準製品は、ドイツ国内で24時間以内、ヨーロッパ全域で48時間以内に納品されます。(日本国内についてはお問い合わせください)

顧客志向

オートメーションとデジタル化を通じて効率を改善し、生産性を向上させることは、お客様にとって最大の課題のひとつです。これには、深い知識と専門知識、ハードウェアとソフトウェアの組み合わせ、そして業界を超えたネットワーキングが必要です。データルームを作成し接続することが、産業変革の成功において重要であると確信し、これこそが私たちの専門であり、得意とする分野です。

Eplanとリタールは、デジタルオートメーションツインの開発を推進し、データをオペレーションにおいてもアクセス可能かつ利用可能にしています。Cideonは、CAD/CAM、PDM/PLM、製品構成の専門知識を活用し、デジタルプロダクトツインのシーンにおけるデータの一貫性を向上させています。German Edge CloudのONCITE Digital Production System(DPS)は、製造プロセスデータを透明化し、最適化を可能にします。これにより、デジタル生産ツインを使用したエネルギー管理まで行うことができます。

持続可能性

環境と気候の保護、社会的貢献、そして倫理的な企業経営は、当然のことです。私たちは持続可能な未来への責任を真剣に受け止めています。資源管理と保全に対する私たちのアプローチは、自社の生産プロセスを継続的に改善し、製品のカーボンフットプリントを可能な限り低く抑えることを目指しています。私たちのソリューションは、お客様が自社の環境目標を達成するための支援をします。

ファミリービジネスとグローバルプレイヤー

1961年に設立されたリタールは、家族経営のフリードヘルム・ロー・グループの中で最大の企業です。このグループは世界で事業を展開しており、12以上の生産拠点と95以上の国際的な子会社を持っています。従業員は12,100人以上で、2023年度の売上高は30億ユーロを記録しました。2023年、フリードヘルム・ロー・グループは「Best Place to Learn(学びに最適な場所)」と「Employer of the Future(未来の雇用主)」の賞を受賞しました。2024年には、リタールがドイツの最も革新的な中規模企業の一つとして、3年連続でトップ100シールを授与されました。

詳細については、www.rittal.com および www.friedhelm-loh-group.com をご覧ください。

PRESS

Rittal and Eplan at Hannover Messe
31 March to 04 April 2025
Hall 11, Booth E06



Eplan

Eplan 社は、電気、オートメーション、メカトロニクス・エンジニアリングのあらゆる側面に対応した設計、プランニング、エンジニアリングのソフトウェアとサービス・ソリューションを提供しています。同社は、機械メーカーやパネルメーカー向けに、世界有数の設計ソフトウェアソリューションを開発しました。Eplan はまた、複雑で困難なエンジニアリングプロセスを簡素化し、合理化するための理想的なパートナーでもあります。

ERP や PLM/PDM システムとの標準化された、また顧客固有のインターフェースにより、バリューチェーン全体にわたるデータの一貫性が保証されます。Eplan との連携は、すべてのエンジニアリング分野にわたるシームレスなコミュニケーションを意味します。企業の大小を問わず、顧客は専門知識をより効率的に活用することができます。世界中で、EPLAN は 68,000 以上の顧客にサービスを提供し、サポートしています。お客様やパートナーとともに、EPLAN は成長を続け、エンジニアリングにおける統合と自動化を積極的に推進するよう努めています。EPLAN パートナーネットワークでは、オープンなインターフェースとシームレスな統合がパートナーと共に実施されています。「効率的なエンジニアリング」が Eplan の核心です。

Eplan は 1984 年に設立され、オーナー企業であるフリードヘルム・ロー・グループの一員である。同グループは世界中で事業を展開し、12 以上の生産拠点と 95 の海外子会社を持つ。従業員数は 12,100 人で、2023 年度の売上高は 30 億ユーロだった。2023 年、フリードヘルム・ロー・グループは、「ベスト・プレイス・トゥ・ラーニング」賞と「エンployヤー・オブ・ザ・フューチャー」賞を受賞した。

詳細については、www.eplan.com および www.friedhelm-loh-group.com をご覧ください。